

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-1	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた援助を行っている
タイトル①	子どもたち一人ひとりに応じた環境との相互作用のプロセスが応答的に機能している。	
内容①	育ちのニーズ、発達を促すために必要な人的な支援、物的環境の再構成などの養護、教育的な支援が子ども一人ひとりを理解すること、子どもが求める、決めるという子どもを主体者として捉えることをファーストステップとして、徹底した支援者の・援助者の・応答的な対応を行なう取り組みがセカンドステップとして保育者同士で理解され、実践でも取り組まれている。物的な環境構成でも意図されたゾーンのほかに子どもたち自身が自由に構成できるオリジナルゾーンがあり、子どもの自発的な働きかけを認める自然な応答的な環境が伺える。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-2-2	サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている
タイトル②	入園時の配慮のみならず卒園後も子どもたちのアフターケアに園は真摯に取り組んでいる	
内容②	入園時、家庭状況や子どもの発達状況に応じて慣らし保育やバス送迎など、柔軟性をもって対応する園の取り組みは評価できる。本園の本領発揮は卒園児へのアフターケアの取り組みであろう。保護者からの希望があれば、卒園前に就学予定の小学校まで保護者と共に園長が出向くことがある。端に保育要録を小学校に提出して終わるのではなく、実際園から学校を訪ねて卒園児について情報を提供している。また、卒園後であっても希望があれば土曜日にボランティアとして受け入れたり、行事などに参加してもらったりするなど卒園児の将来への配慮は見事である。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	2-2-1	事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある
タイトル③	本園は最も支援が必要な子どもと家庭に力を注ぎ、個別のニーズに応えている	
内容③	本園の機能と専門性は、支援が最も必要な子どもとその家庭に向けられている。園児は要保護家庭と障がい児の割合が高く、特別な配慮が、一人ひとりの子どもに行き渡るように、個別の支援が徹底されている。経営層は「子どもらしさ」の多様さを受け入れ、目の前の子どもに最も大切なものが何かを考えるようにしている。個別のニーズにかなう対応ができるように、職員全員で力を合わせ、組織全体で専門性を発揮させようとしている。	